

興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-0042 米沢市塩井町塩野1476-1 興道北部保育園内 TEL0238-40-0044 FAX0238-37-8399 発行責任者/玉木龍晃



興道北部保育園内 新本部 研修室

米沢仏教興道会会員寺院様の物心両面の援助に深く感謝すると共に、社会保障のない時代の先人たちの苦勞の系譜に私どもがあることを忘れてはなりません。当たり前なものは何も存在しないのです。仏縁を認識、感謝して社会福祉事業を邁進していきます。今後ともさらなる御協力を宜しく願います。

昨年七月、懸案事項であった本部機能を花の里から北部保育園への移転事業を無事遂行できたと喜ばしい限りです。まず先に六月二十五日、長い間プレハブで失礼させて頂いたお釈迦様を遷座移転の為に供養し、七月十一日北部保育園研修室に安置、安位調経を厳修しました。その際、出仕・随喜して頂いた興道会会員に御礼申し上げます。漸進と進んだ増改築・整備により、駐車場完備、大人数の会議でも対応できる研修室も完成し、遜色のない本部が完成しました。地の利も良く便利な為、この機能的施設は、社会の要望にこたえることを期待できます。携わった方々全ての方に御礼申し上げます。



米沢仏教興道会 会長 玉木龍晃

本部移転について

平成25年度 事業計画(案)

4月 正会員会総会

6月8日(土) 第89回 花まつり

■時間/14:00~ 於:米沢市市民文化会館

9月 正会員会

12月中旬 歳末助け合い募金(ののさま募金)

平成26年

2月上旬 正会員会・新年会

3月1日 機関紙「興道会だより」第12号発刊

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

平成24年度 事業報告

正会員会総会 於:招湯苑

■とき/平成24年4月12日(木) ■時間/18:00~

第88回花まつり 於:米沢市市民文化会館

■とき/平成24年6月9日(土) ■時間/14:00~

安位調経・正会員会総会(役員改選) 於:本部研修室

■とき/平成24年7月11日(水) ■時間/14:00~

寺町サミットin米沢 共催 於:日朝寺 茂林寺

■とき/平成24年10月5日(金)~6日(土) ■時間/13:00~

歳末助け合い募金(ののさま募金) 於:本部研修室

■とき/平成24年12月13日(木) ■時間/10:00~

正会員会・新年会 於:志ん柳

■とき/平成25年1月23日(木) ■時間/18:00~

機関紙「興道会だより」第11号発刊

■とき/平成25年3月1日(金)

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

後継者の問題について

米沢仏教興道会 幹事事業担当

天正寺

棹山義法



私が今一番懸念していることが二点あり、それを述べたいと思います。第一点は、寺の後継者であります。還暦を過ぎてからつくづく思っています。今の所、私には後継者がありません。このことは私だけの問題ではないのではないのでしょうか。現実として、我が教区は二十数ヶ寺のうち半数は兼務寺となっていることです。これは、後継者の問題だけではなく、檀家数によるものではないかと思っています。このようなことは、当地方だけの問題だけではないものと思えました。それは、過日のテレビで放映していましたが、確か長野県だったと思います。が、会社勤めをしていた方が、もともと宗教に関心を持っていたことから、定年後、僧侶になるための修行を行い、現在住職となったそうです。しかし、あちこちに空き寺があることを知り、自分のように第二の人生を住職として出発してもらえればとのことパンフレットを作成し、企業訪問して勧誘しているものでした。これも一つの方法かもしれませんが、難しい問題であることは間違いありません。第二点は、墓を守る後継者であります。現在、少子高齢化が進んでおり、私の檀家さんで子孫がなく墓だけ残されていることや、数件程単身高齢の方がおられ同様の事態になること先が見えています。また、こんな例があります。それは、姉妹がそれぞれ嫁いだため自分の代までは墓を守っていかれるが、子供の代になつたらどうなるかわからないとのことでした。このように、少子高齢化により、墓を守る後継者がいなくなった場合、墓だけが取り残されることが沢山出て来ると思われますが、皆様の御寺院はいかかでしょうか。 合掌

募金浄財総額 一三一、〇六〇円



今年も歳末助け合い募金活動(ののさま募金)にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成二十四年十二月十三日に当本部に於いて、ののさま募金の受付を行いました。大変お忙しい中、会員御寺院様、各保育園・老人ホームの利用者と職員の皆様からの浄財をいただき、左記の金額となりました。お預りした浄財は、同年十二月二十日に熊野副会長より米沢社会福祉協議会を通じて「歳末助け合い募金」に寄付いたしましたことをご報告いたします。なお、米沢で集められた募金は、米沢市内の寝たきり老人介護者世帯や支援を必要とする世帯、給食サービス、手話講習等に役立てられる予定です。ご協力いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。 合掌

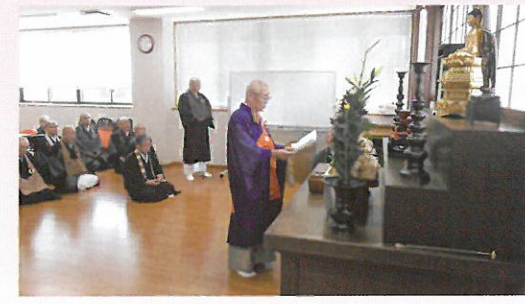


歳末募金御礼のののさま募金



念願の本部移転!!

本年度、花の里敷地内(二階建プレハブ)にあった興道会本部を念願の興道北部保育園二階へ移転した。二十年もの長きにわたったため、資料や荷物も多く、整理も大変だったが、予定通りに無事完了した。平成二十四年六月二十五日に旧本部にて事務局員による遷座諷経が行われ、本尊様(釈迦牟尼仏)に報恩供養を行った。その後、旧本部より須弥壇・仏具の運びだしが行われ、同年七月十一日には新本部研修室において、安位諷経を厳修した。当日は大勢の会員御寺院様において頂き、本会の本尊様にご供養を申し上げ、正会員会総会を開催した。また、本部の移転に伴い、興道北部保育園の南側に駐車場を増設し、多くの方が利用できるよう整備した。

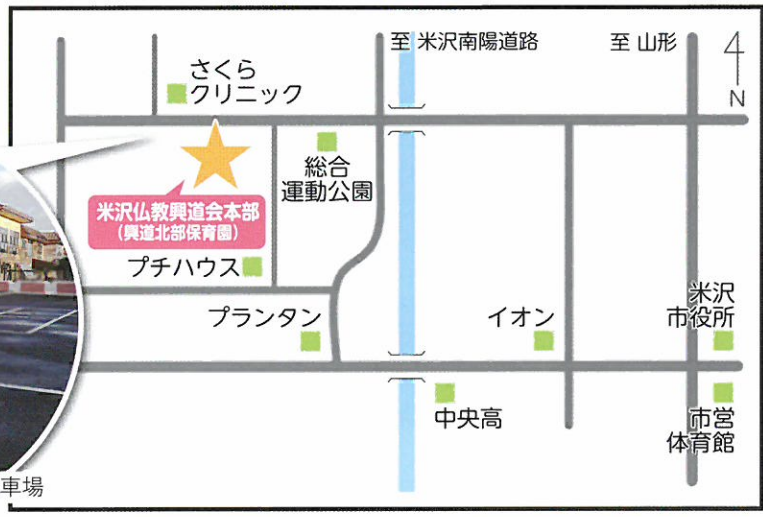


安位諷経の様子



遷座諷経後の集合写真

平成二十四年六月二十五日に旧本部にて事務局員による遷座諷経が行われ、本尊様(釈迦牟尼仏)に報恩供養を行った。その後、旧本部より須弥壇・仏具の運びだしが行われ、同年七月十一日には新本部研修室において、安位諷経を厳修した。当日は大勢の会員御寺院様において頂き、本会の本尊様にご供養を申し上げ、正会員会総会を開催した。また、本部の移転に伴い、興道北部保育園の南側に駐車場を増設し、多くの方が利用できるよう整備した。



興道北部保育園南側の新駐車場

寺町サミット

in 米沢共催

平成二十四年十月五日・六日に東寺町の日朝寺、茂林寺を会場に寺町サミットが行われ、全国の八都市から各市長をはじめ寺院や一般の方々、総勢二五〇名が集まった。当日は天候にも恵まれ、やや残暑が厳しい中ではあったが、各都市からの寺町を活かした町づくりのユニークな報告がなされ、サミットは大いに盛り上がり無事閉幕した。この二日間のサミットを開催するために、観音寺御住職瀧澤良祐師を実行委員長とし、各寺院や檀信徒、行政関係の方々がかりで準備をしてこられた。当日、ご協力くださった本会会員の皆様、仏教興道青年会の皆様には、厚く御礼申し上げます。



サミットで挨拶する瀧澤良祐師



当日、ご協力くださった本会会員の皆様、仏教興道青年会の皆様には、厚く御礼申し上げます。

観音霊場巡り

第七回 観音信仰は古くからあるが、衆生が日頃出会うあらゆる災難や苦難が、ただ菩薩の名前を唱えるだけで即座に救われるという、七難七生の利益の信仰は庶民の中に深く入り込んだ。又、衆生の苦難に菩薩がさまざまに化身して示現するという三十三身説は、観音霊場三十三カ所の遍路となって広く流行した。この近くでよく知られているのは、最上三十三観音や置賜三十三観音霊場がある。しかし、地元の米沢三十三観音霊場もあることを知っている方が少ないのは、残念なことである。浅からぬ歴史のある霊場を埋もれさせるのは恨び難く、せっかくなある資料を以て認識を新たにしてもらいたいと思う。今回は五ヶ所を紹介したいと思う。



三番十一面観世音 喰旁町 弥勒院
ひのめよりわたらせたまふ ほどけにて
だいひのひかり あらたなりけり
六番千手観世音 大町 庚申堂
おおほりにみづをたたえて ごくらくの
くどくのいけの たぐいならまし



二十五番聖観世音(当本部所蔵) 糊西桐町 寶幢院
あわれみや あまねく かのそのなかに
とふときほどけ いまぞありけり



二十八番子育正観音 北寺町 転輪寺
かくまでも ちごをこやすのかんせおん
だいじたいひの たのもしきかな

三十二番聖観世音 御守町 法泉寺
ちかいをば ふかきつみにぞたとへけり
のりの いづみをくみてしらし

※写真を掲載していない御寺院様については、大火の焼失等で現存していません。